

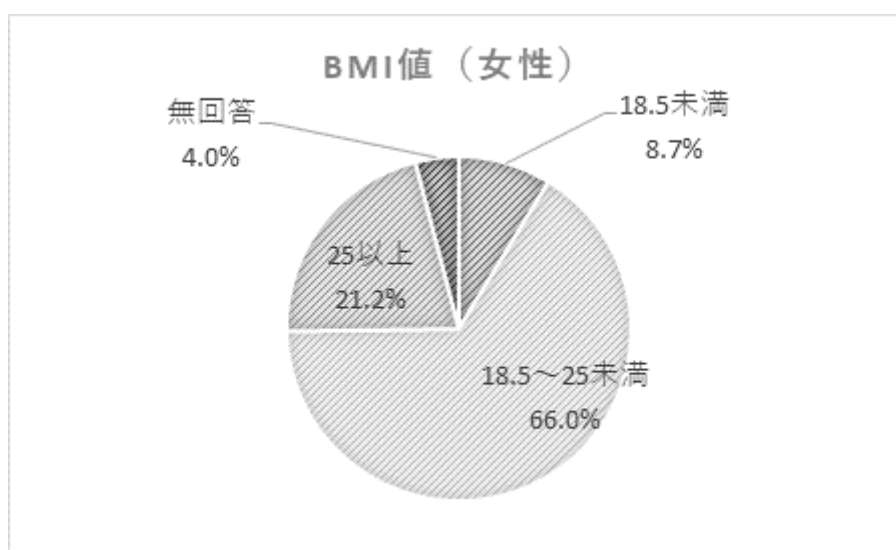
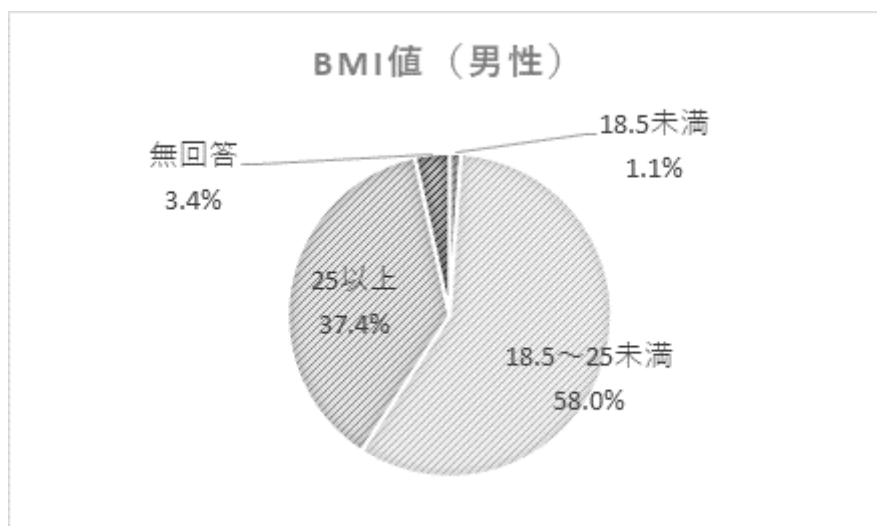
Ⅶ. 健康管理

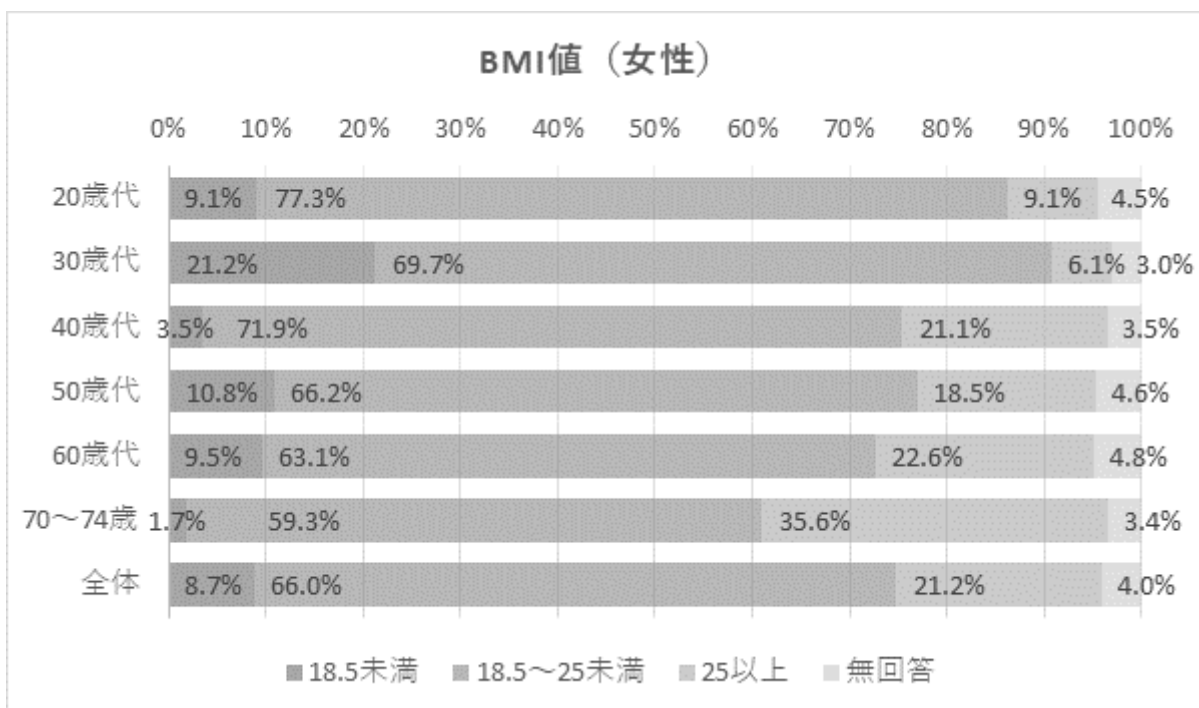
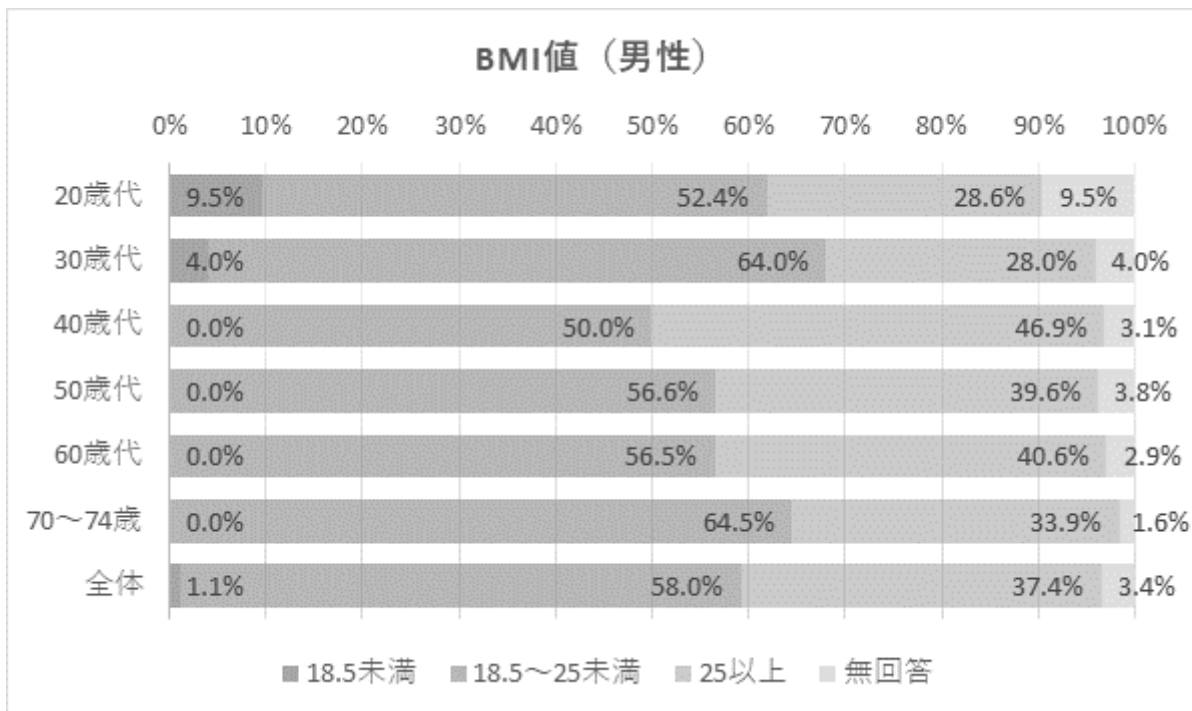
3.4 身長と体重（肥満度：BMI（*4）を用いて判定）

「肥満」の割合は、男性が37.4%、女性が21.2%で全国調査（注1）より男女とも高くなっている。男性は、40歳代、60歳代で肥満割合が4割を超え、女性は40歳代以降で肥満の割合が上がっている。

一方、「やせ」の割合は、男性が1.1%、女性が8.7%で全国調査（注1）より、男女とも低くなっている。30歳代女性の「やせ」の割合は、21.2%で他の年代よりも高くなっている。

全国調査（注1）：肥満の割合は、男性 33.0%、女性 22.3%
やせの割合は、男性 3.9%、女性 11.5%



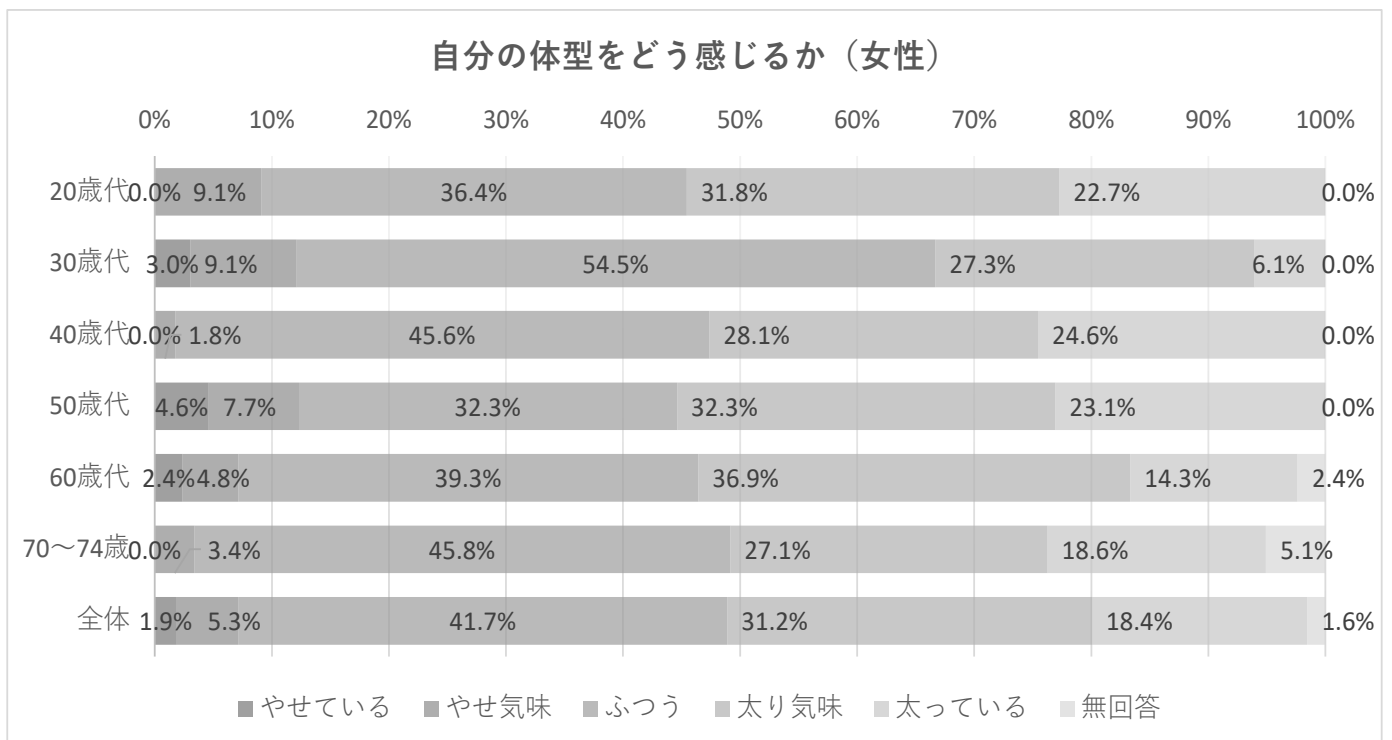
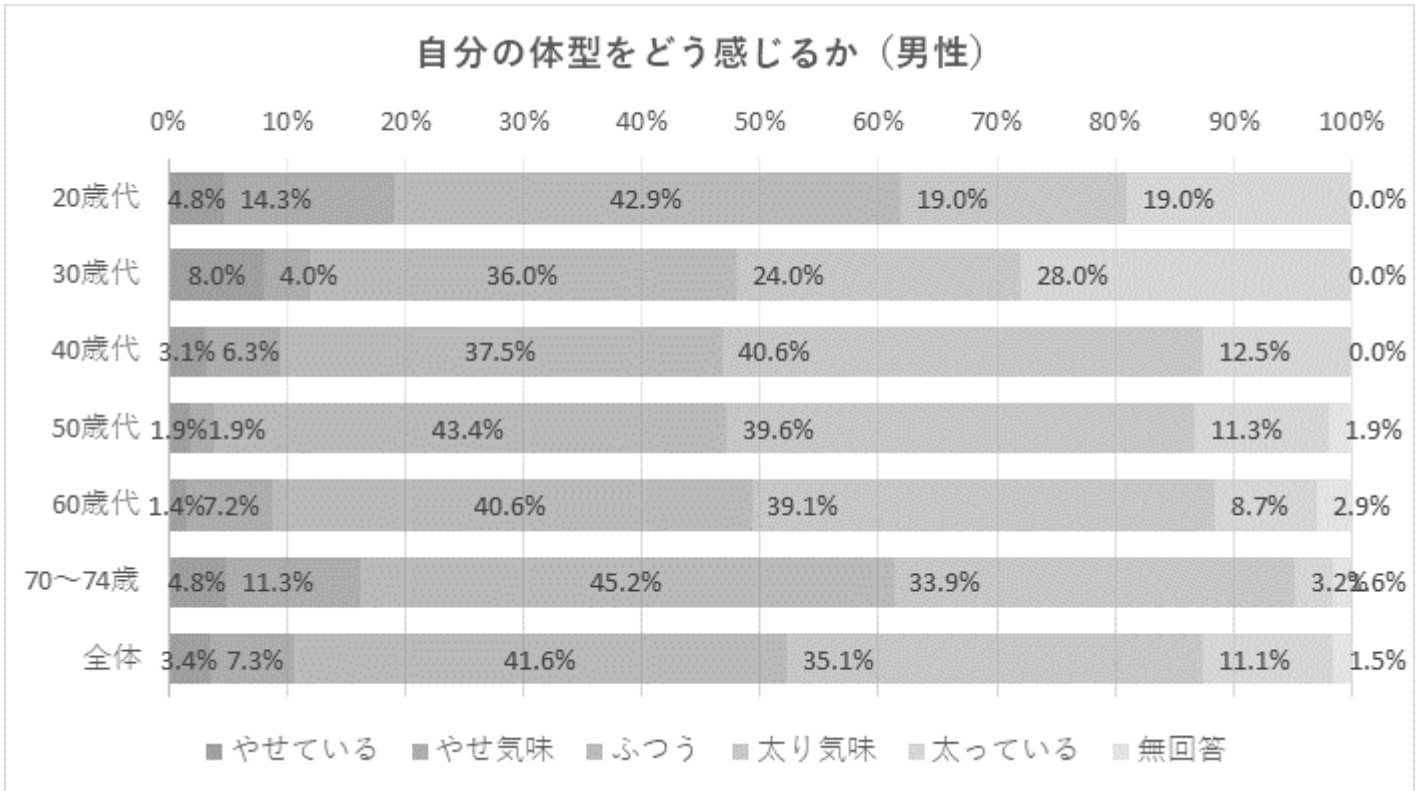


（*4） BMI（Body Mass Index）とは、身長体重のバランスのことで、体重〔kg〕／（身長〔m〕²）により算出します。

「食事摂取基準 2020」では目標とするBMIを、18~49歳で18.5~24.9、50~69歳で20.0~24.9、70歳以上で21.5~24.9と定めています。

35 ご自身の体型について、おおむねどう感じていますか。

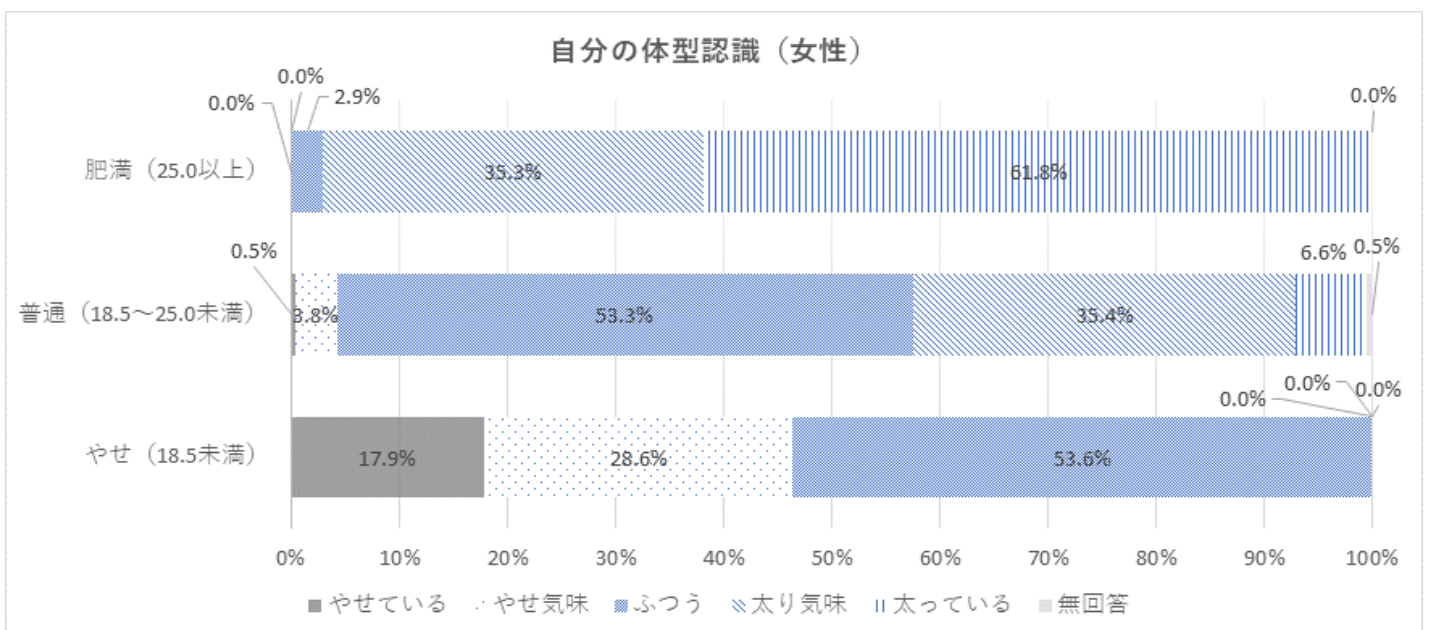
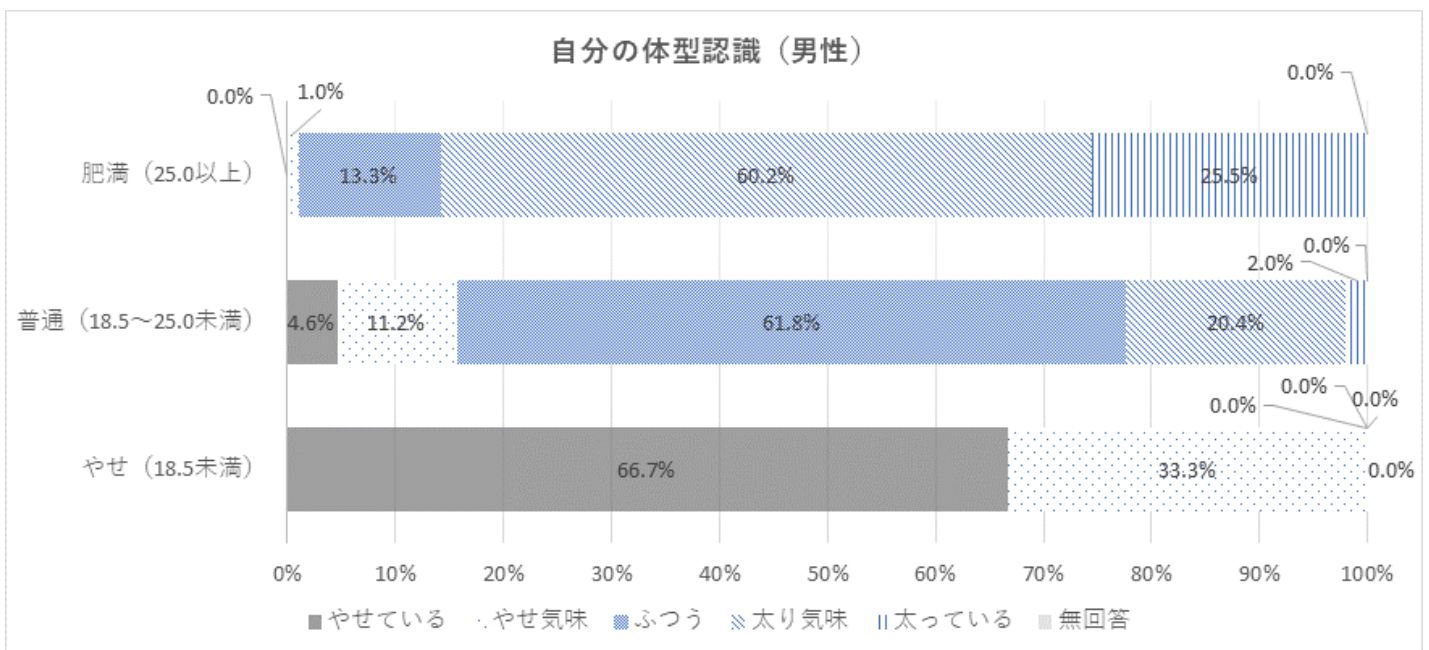
男女とも「ふつう」と感じている割合が一番高く、男性は41.6%、女性は41.7%となっている。



前の設問で、“体格（BMI を用いた肥満度）と” 体型をどう感じているか “の関係

肥満（BMI25.0 以上）の人は、「太り気味」、「太っている」と感じている割合が、男性 85.7%、女性 97.1%で、男性は約 14%の方が「ふつう」もしくは「やせ気味」と認識している。

やせ（BMI18.5 未満）の人は、男性では「やせている」、「やせ気味」と感じている割合が 100%で自身の体型認識と体型は一致し、女性では、「ふつう」と感じている割合が 53.6%で、自身の体型認識と体型とは約5割が一致しない。

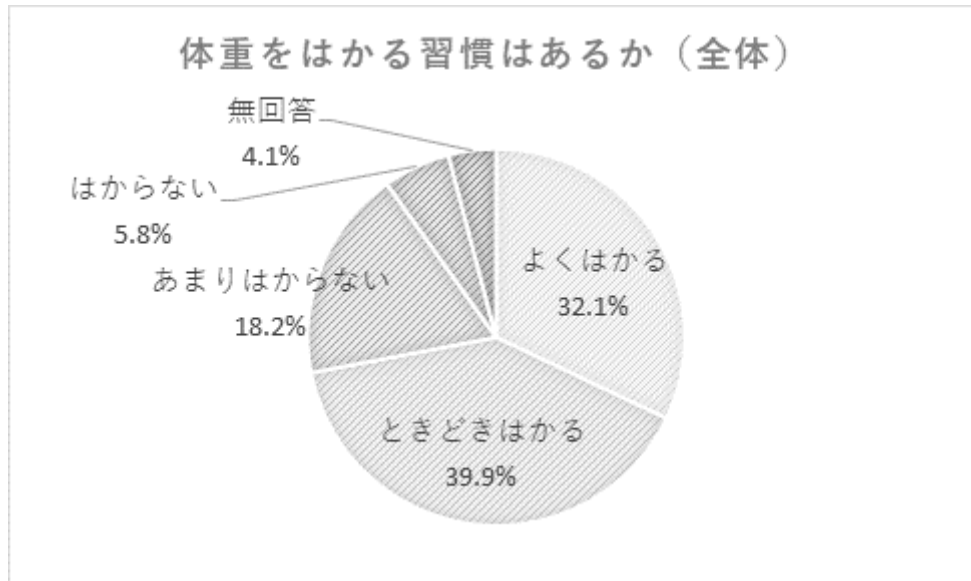


36 ご自身の体重をはかる習慣がありますか。

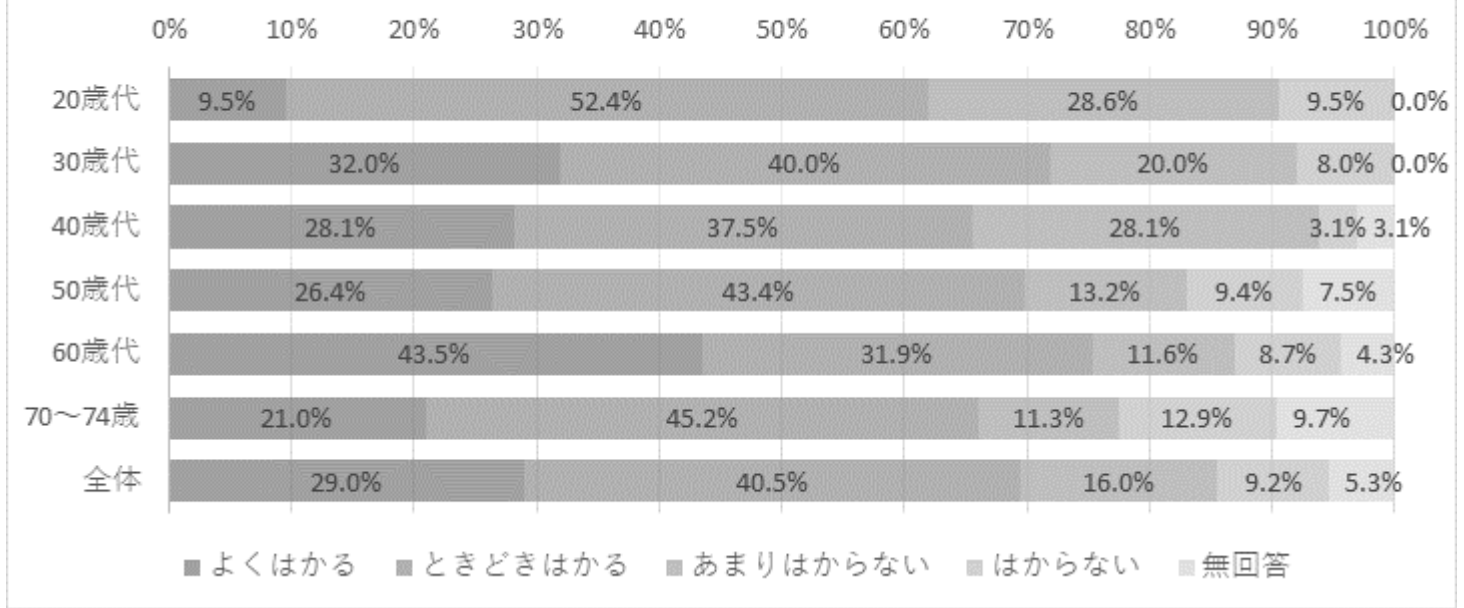
「よくはかる」、「ときどきはかる」を合わせた72.0%が、体重を測っている。

性別では、「よくはかる」、「ときどきはかる」を合わせた割合は、男性が69.5%、女性が73.9%となっている。

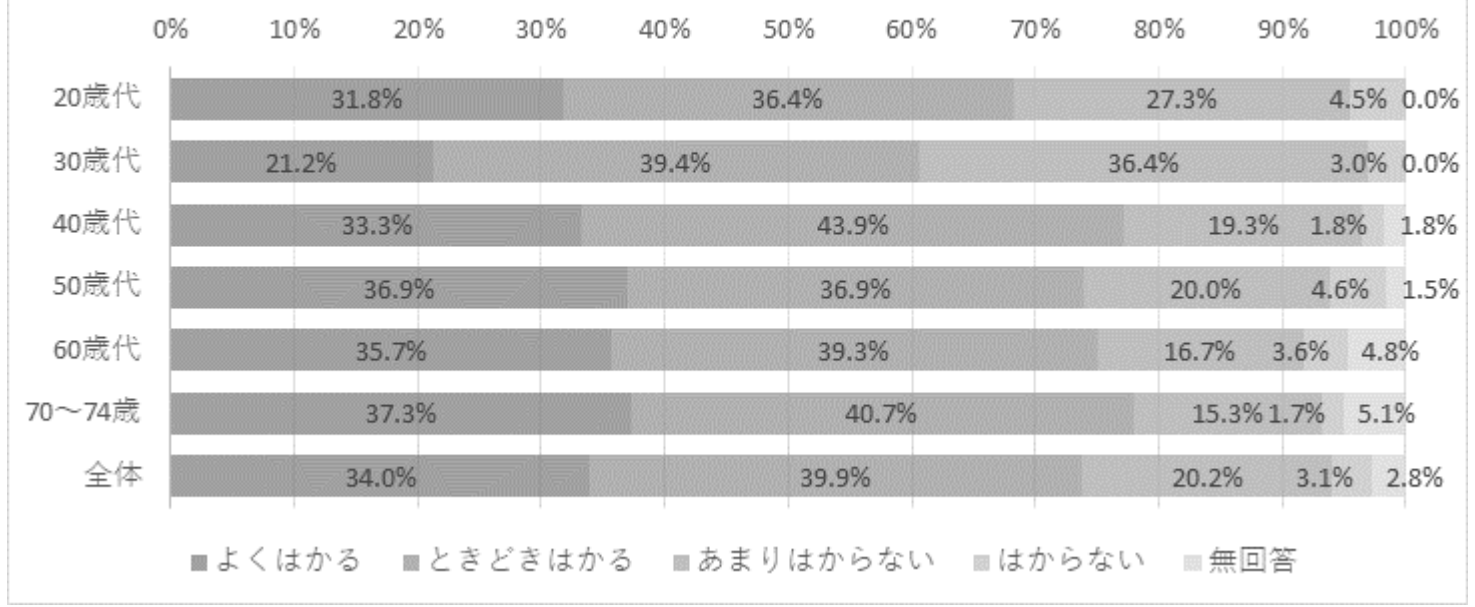
年代別では、30歳代の女性が他の年代と比べて、体重を測っている割合が低くなっている。



体重をはかる習慣はあるか（男性）



体重をはかる習慣はあるか（女性）

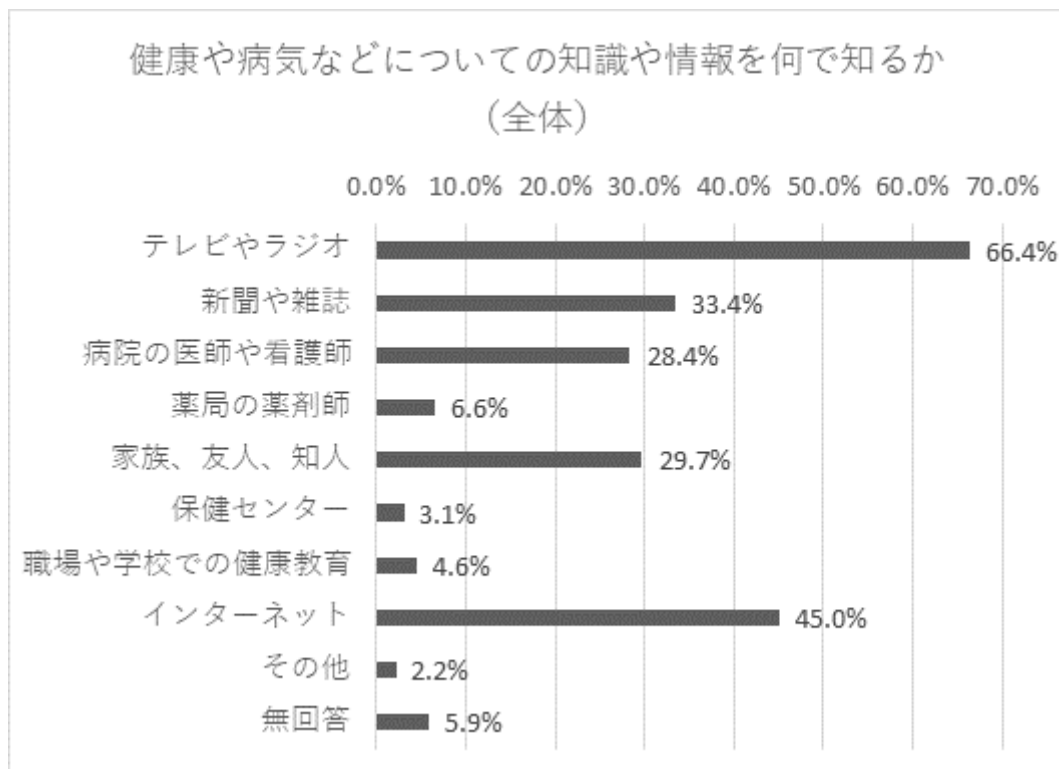


37 健康や病気などについての知識や情報を何で知りますか。(複数回答)

「テレビやラジオ」が66.4%と最も多く、次いで、「インターネット」が45.0%、「新聞や雑誌」が33.4%となっている。

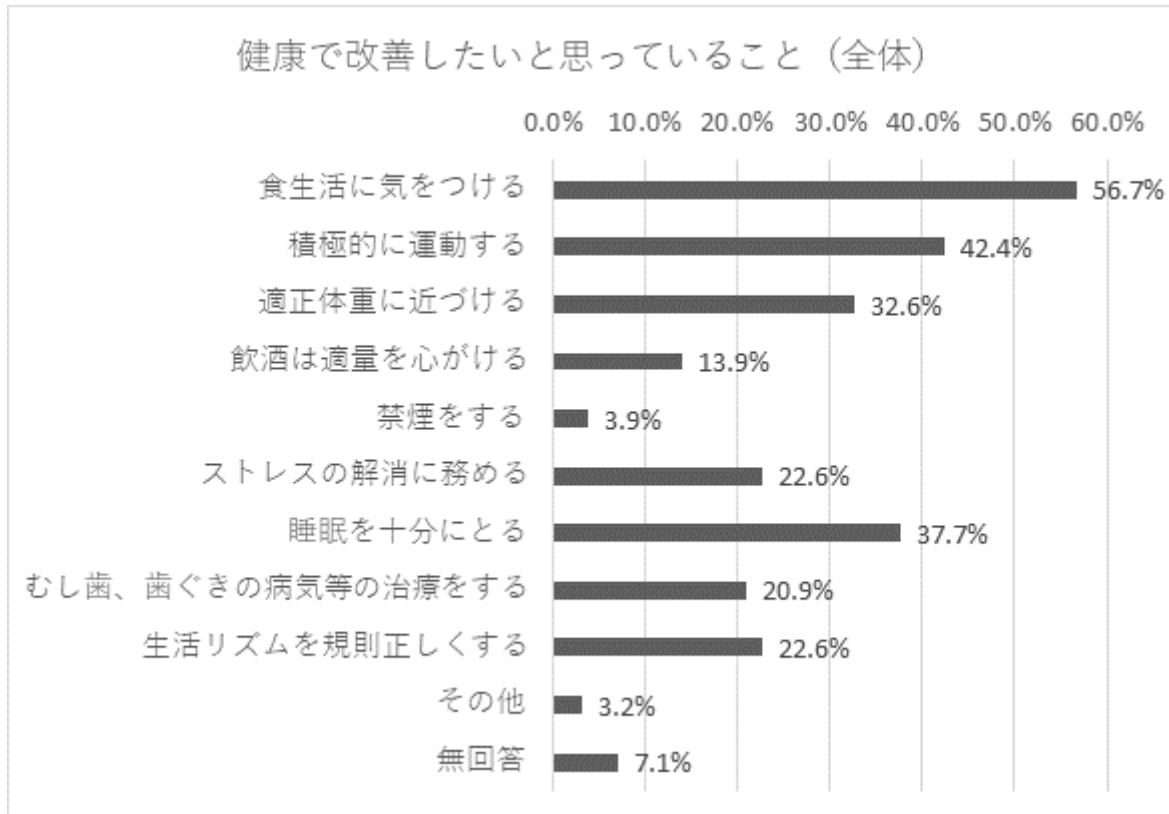
平成29年度実施の意識調査

- テレビやラジオ 74.7%
- 新聞や雑誌 44.1%
- 病院の医師や看護師 24.1%
- 薬局の薬剤師 6.5%
- 家族、友人、知人 28.8%
- 保健センター 3.1%
- 職場や学校での健康教育 3.7%
- インターネット 30.2%
- その他1.8%
- 無回答 3.3%



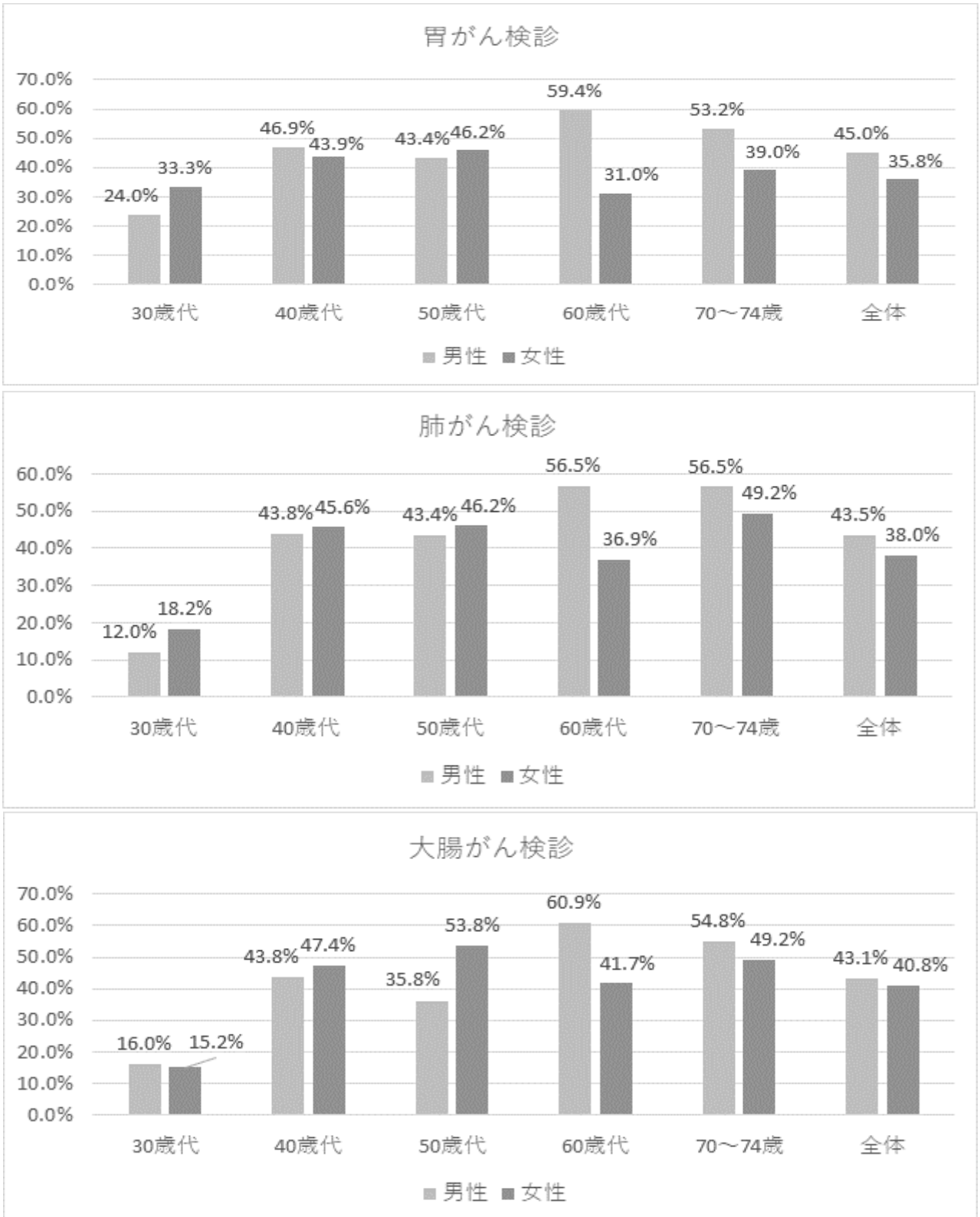
38 今後、健康で改善したいと思っていることは何ですか。(複数回答)

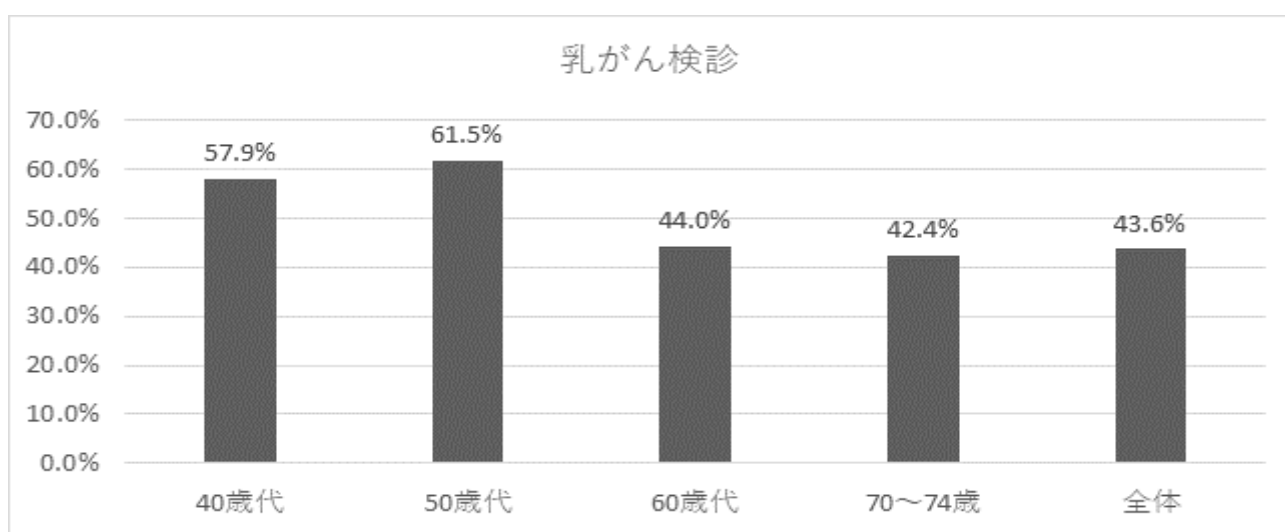
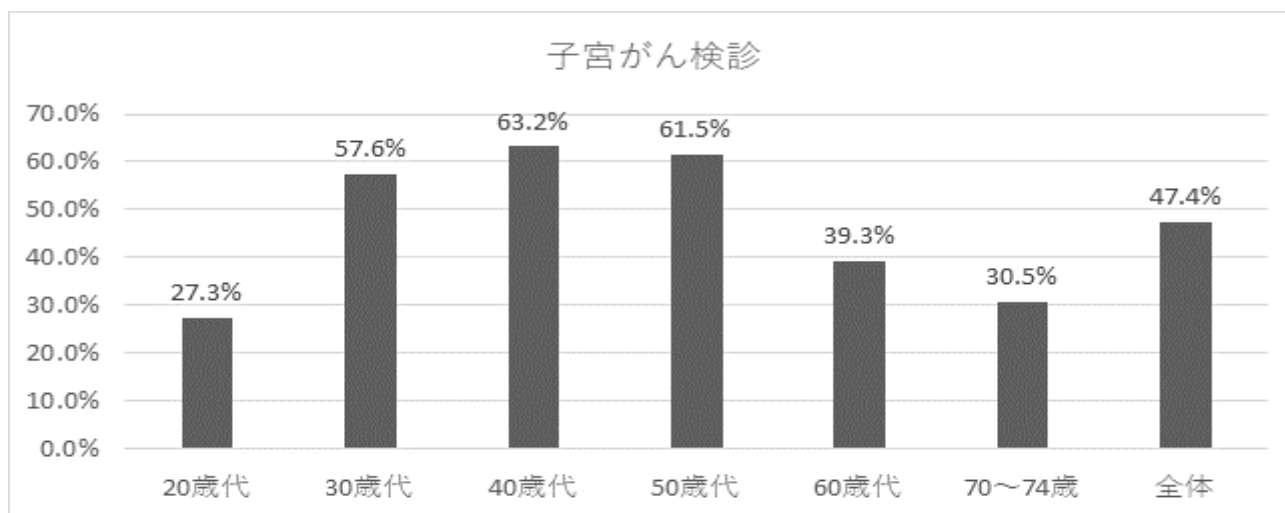
「食生活に気をつける」が56.7%と最も多く、次いで、「積極的に運動をする」が42.4%、「睡眠を十分にとる」が37.7%、「適正体重に近づける」が32.6%となっている。



39 定期的にがん検診を受けていますか。

がん検診の受診割合を性別でみると、胃がん検診は30歳代、50歳代、大腸がん検診は40歳代、50歳代、肺がん検診は30歳代～50歳代で女性の方が高い傾向にあり、60歳代以降は男性の方が高い。全体としては、どの検診も男性の方が受診率が高い。





「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）において、がん検診の受診率算定の対象年齢が40歳から69歳（「子宮がん検診」は20歳から69歳）までとされたことにより、これに基づいて算出した受診率は次のとおりである。

当麻町

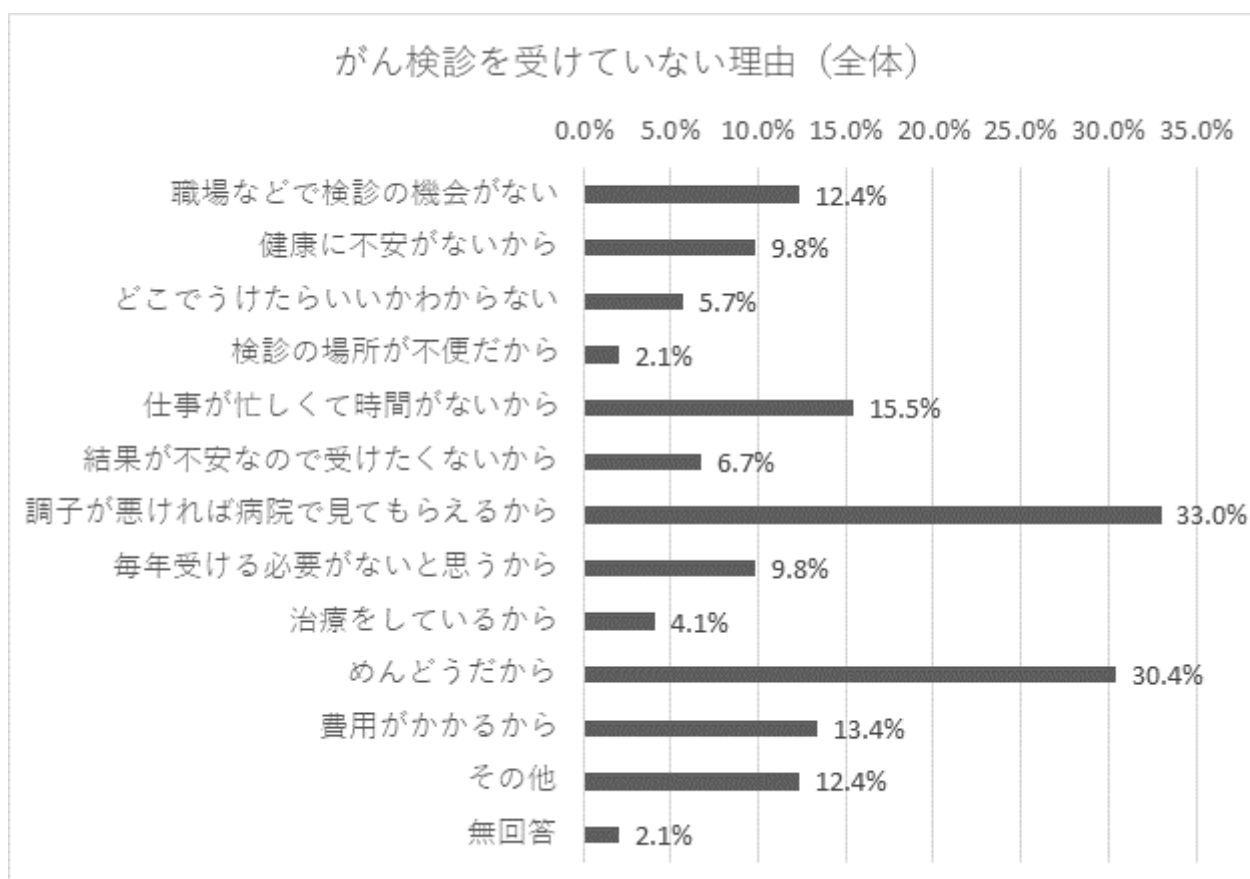
	男性	女性
胃がん検診	51.3%	39.3%
肺がん検診	49.4%	42.2%
大腸がん検診	48.7%	47.1%
子宮がん検診	-	51.3%
乳がん検診	-	53.4%

（参考）令和4年国民生活基礎調査

	男性	女性
胃がん検診	47.5%	36.5%
肺がん検診	53.2%	46.4%
大腸がん検診	49.1%	42.8%
子宮がん検診	-	43.6%
乳がん検診	-	47.4%

がん検診を受けていない理由（複数回答）

前の設問で、がん検診を「受けていない」と回答した 194 人（全体の 32.9%）中では、「調子が悪ければ病院で見てもらえるから」が 33.0%と最も多く、次いで「めんどうだから」が 30.4%、「仕事が忙しくて時間がないから」が 15.5%、「費用がかかるから」が 13.4%となっている。

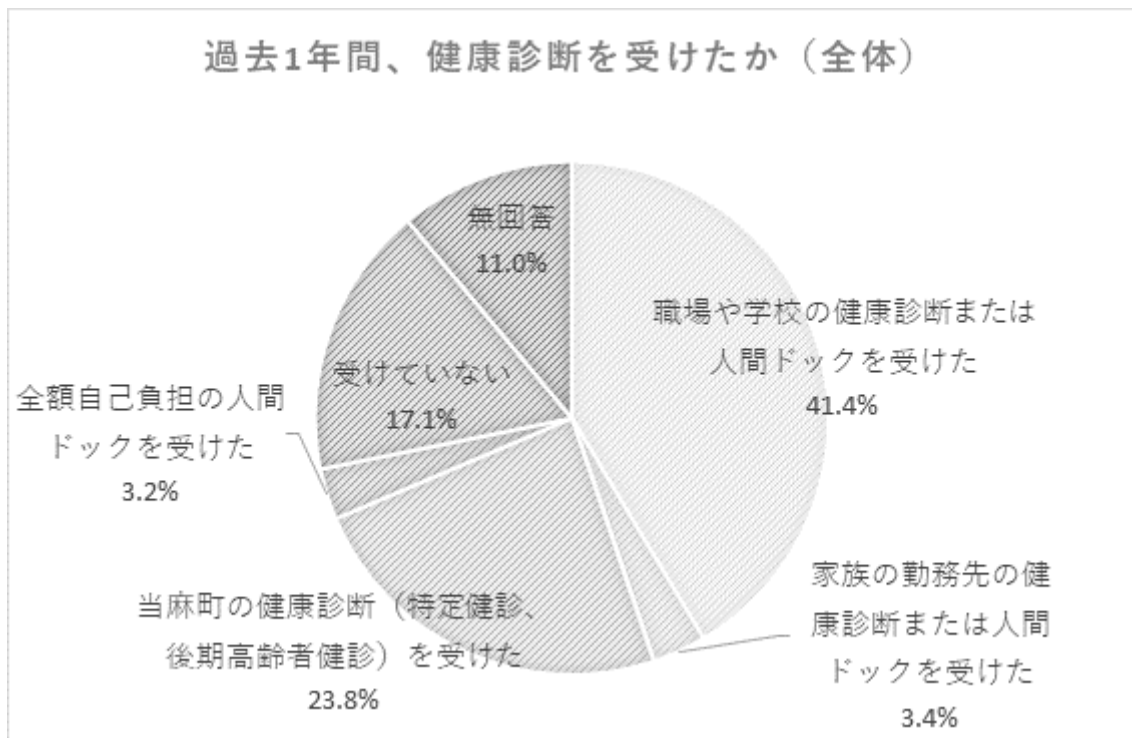


40 過去1年間、健康診断を受けたことがありますか。

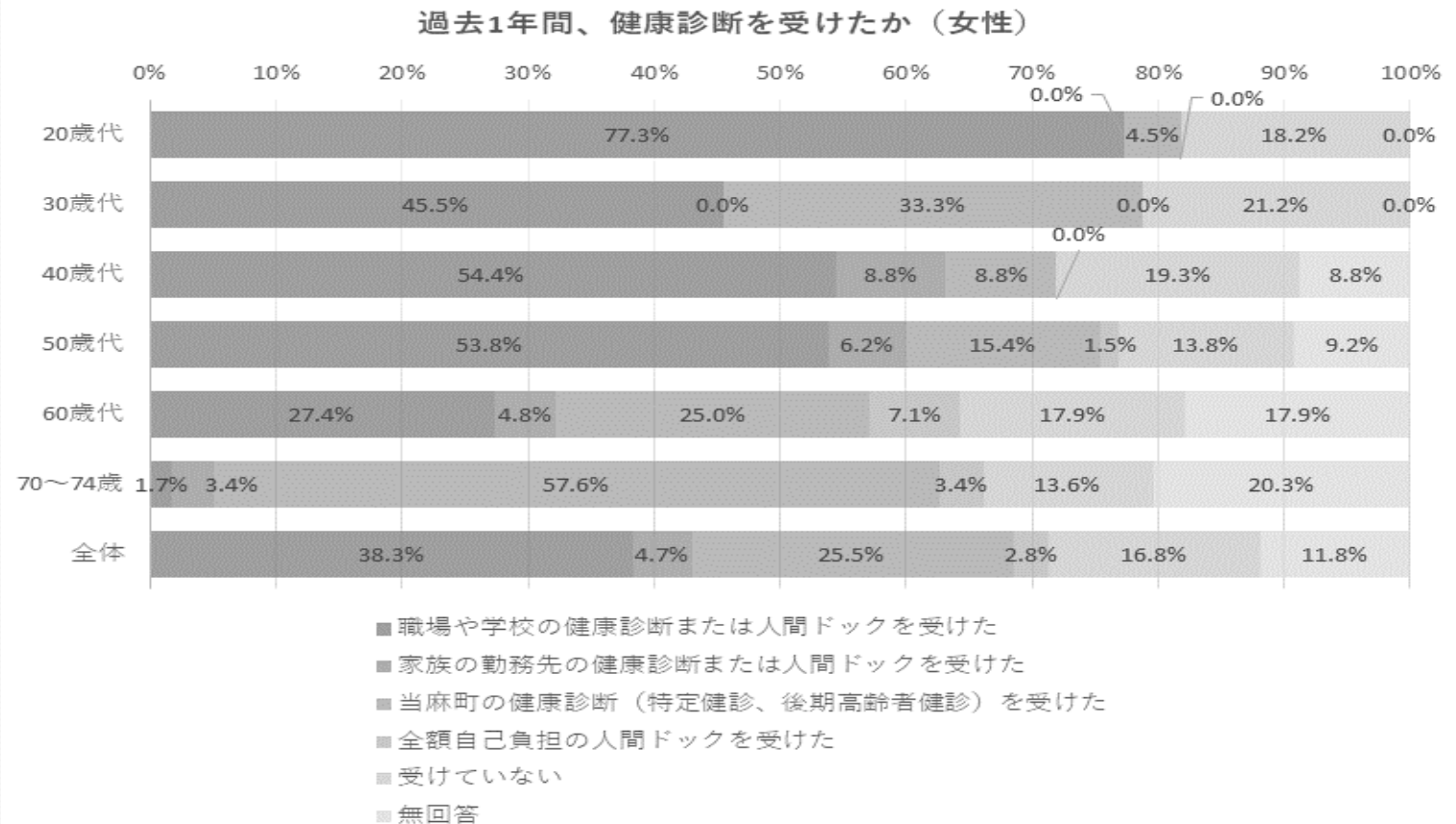
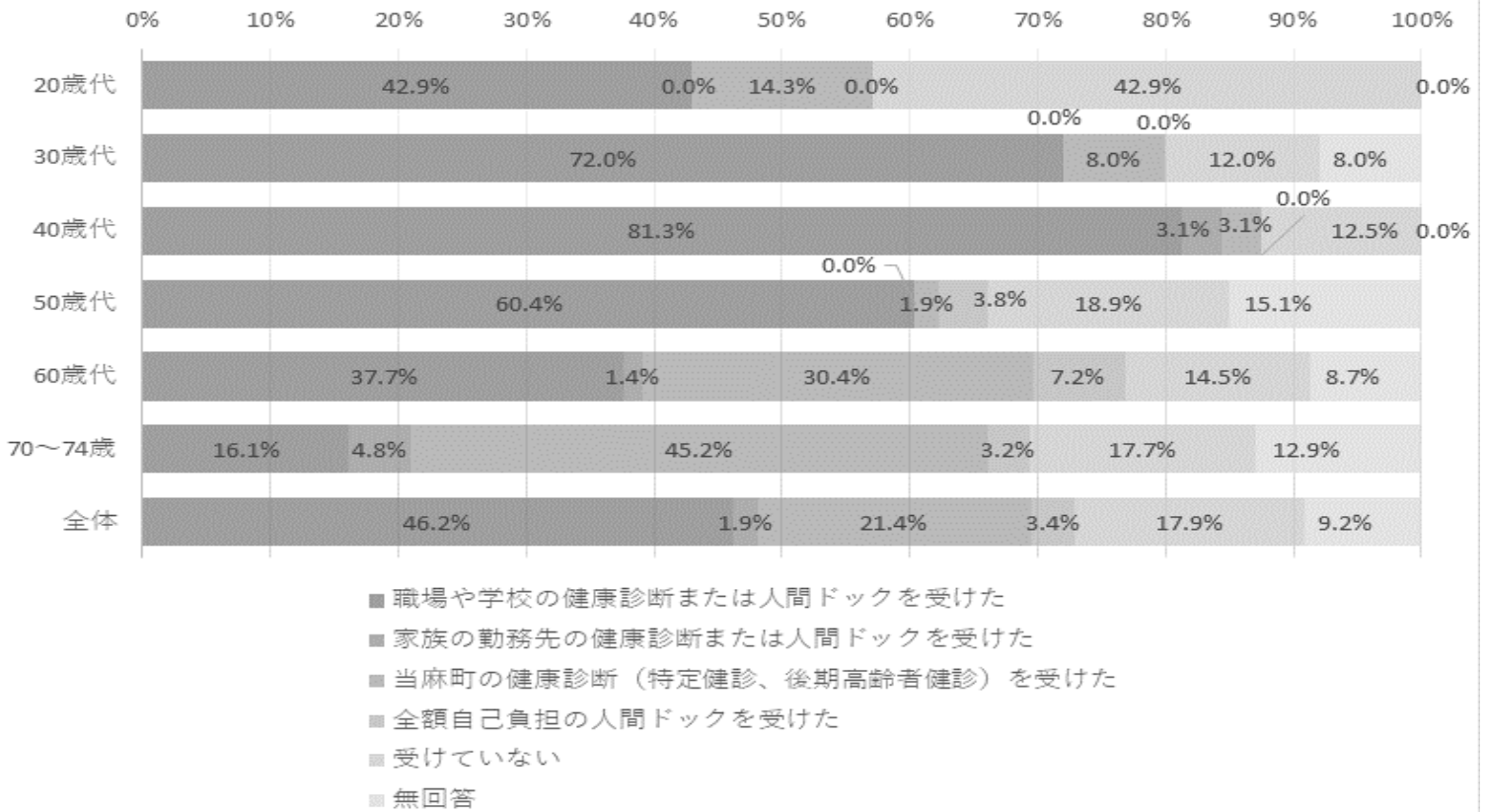
「職場や学校の健康診断、人間ドックを受けた」、「家族の勤務先の健康診断、人間ドックを受けた」、「町の健康診断を受けた」、「全額自己負担の人間ドックを受けた」を合わせた“健康診断を受けた”割合は71.8%となっており、性別では、男性が72.9%、女性が71.3%で、ほぼ同じ程度の割合であった。

男女ともに、50歳代までは職場等で健康診断を受ける割合が高く、60歳代以降は、町の健診を受ける割合が高くなってきている。

健康診断を「受けていない」割合は、男性では20歳代で、女性では30歳代で他の年代よりも多くなっている。特に20歳代男性は4割以上が受けていない。



過去1年間、健康診断を受けたか（男性）



健康診断を受けていない理由（複数回答）

前の設問で「受けていない」と回答した 101 人（全体の 17.1%）中では、「調子が悪ければ病院で見てもらえるから」が 31.7%と最も多く、次いで、「めんどうだから」が 19.8%、「治療をしているから」が 18.8%、「仕事が忙しくて時間がないから」が 16.8%となっている。

